

チャペル週報

No.15

2026.10.12～10.16

秋季宗教運動特集号

正義が造り出すものは平和。
正義が生み出すものは
とこしえに至る静けさと信頼である。

イザヤ書 32 章 17 節



学生会館新館（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時 間：西宮上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30～11:00
場 所：各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

10月12日(月) 短大 山内クラス ダッドレーチャペル

10月13日(火) 神 私が選んだ聖書のことば③ 東 よしみ(神学部准教授)
文 宗教総部「邑久光明園訪問活動報告」
社 インドネシア交流セミナー参加学生による報告
法 小見 のぞみ(関西学院短期大学宗教主事)
経 世界アルツハイマーデー(9/21)を覚えて 舟木 譲(宗教主事)
商 松本 雄一(商学部教授)
国 石原 敬子(国際学部教授)
理・工・生環 献血実行委員会
総 宗教総部
教 廣瀬 規代志(日本キリスト教団関西学院教会牧師)

10月14日(水) 神 橋本 かおり(日本キリスト教団夙川東教会牧師)
社 世界に生きる④ 大宮 有博(法学部宗教主事)
法 Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授)
商 音楽チャペル マンドリンクラブ
人 嶺重 淑(宗教主事)
国 平林 孝裕(宗教主事)
理・工・生環 宮田 裕三(日本聖公会神戸聖ヨハネ教会牧師補)
教 田代 麻里江(クライストコミュニティ武庫之荘教会チャプレン)

10月15日(木) 大学合同チャペル -私の Mastery for Service- 10:20～11:10

西宮上ヶ原キャンパス 会場:中央講堂

「地の塩、世の光として歩む」 上山 美津穂(関西学院大学大学院 人間福祉研究科 博士課程後期課程 2年)

神戸三田キャンパス 会場:VI号館 101教室

「輝け!自由!」 鈴木 契(株式会社電通 グループ・クリエイティブディレクター)

西宮聖和キャンパス 会場:メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

「小さきものに向かうための練達」 山口 真史(一般社団法人 new-look 代表理事)

10月16日(金) 大学合同チャペル -私の Mastery for Service- 10:20～11:10

西宮上ヶ原キャンパス 会場:中央講堂

「輝け!自由!」 鈴木 契(株式会社電通 グループ・クリエイティブディレクター)

神戸三田キャンパス 会場:VI号館 101教室

「小さきものに向かうための練達」 山口 真史(一般社団法人 new-look 代表理事)

西宮聖和キャンパス 会場:メアリー・イザベラ・ランバスチャペル

「弱さ・痛みをこそ心の土台に」

成岡 宏晃(日本聖公会 芦屋聖マルコ教会牧師・愛光幼稚園チャプレン・松蔭中学校高等学校チャプレン)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

10月16日(金) ベーツチャペルにて開催 文学部のために 久米 暁(文学部長)

Zoomでもご参加いただけます。

オンライン (Zoom)



地の塩、世の光として

上山 美津穂

G号館には「あなたがたは地の塩である」とマタイによる福音書5章13節の聖句が刻まれています。私は、大学院生として関学に帰ってきたとき、壁に刻まれたこの聖句をみて、「おかえり」と温かく迎え入れてもらったような気がしました。私にとってのMastery for Serviceとは、この聖句であり、これが私の原点です。

私は大学の4年間を人間福祉学部で学び、卒業後はアメリカの大学院修士課程に留学しました。現在は小児医療の現場で子どものこころのサポートをする専門職チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）として働きながら、大学院で子どものこころ（スピリチュアリティ）について研究をしています。

医療現場では、どんなに技術が発展しても、人間には死が避けられないことを突きつけられます。病気によって生命が脅かされる状況の子どもたちのそばにいと「なんでこんな病気になってしまったん」「生きてる意味なんかない」とこころの叫びが投げかけられることもあります。そのような叫びに応えることもできず、医療行為が出来るわけでもなく、ただそばにいることしかできない自分にもどかしさを覚えることもあります。

子どもたちのそばにいるとき、私自身は塩気のない塩で、なんでもない存在だけれども、神様によって塩気が与えられているということを感じます。この聖句には続きがあり、16節には「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。」と書かれています。地の塩として生きるだけではなく、苦しみの中にある人をそっと照らす人になりなさい、と神様から背中を押されているように感じます。私にできることは小さくても、そこに神様の愛がはたらいて、地の塩、世の光として子どもたちのそばにいることが赦されているのです。

子どもたちは、生命が脅かされる状況にあっても、答えのない問いを投げたくなるような絶望の中にあっても、いのちを一生懸命輝かせながら生きています。だからこそ私は、苦しみ、悩み、暗闇の中にいる子どもたちやご家族のそばで、温もりのあるあかりをそっと灯す「ともしび」でありたいと願います。

輝け！自由！

鈴木 契

働くと評価にさらされることになります。わたしも会社の評価が低かったことがあります。ショックで、頑張っているのになんで分かってくれないんだ？賞を取ればいいの？売り上げなの？どっちなの？と腹を立てていました。

そこでハッとしました。あ、評価のせいにしている、囚われてしまっている、と。こんなことに悩むより、本来の価値である目の前の人の役に立つ、そのためにアイデアを考えて実現させることに集中した方がいいと気づきました。目の前が開けて、その点では悩まなくなりました。アイデアが出なくて毎日悩んでいますが……。囚われずに自由にシンプルに仕事できていると仕事は楽しいんですよ。

みなさんはどんな時に幸せを感じますか？SNSに上がっている食べ物、イベント、ファッション、幸せそうな写真をみていいなと思うことは普通です。が、これさえ手に入れば幸せになるのに……。と思っているともっと美味しそうな食べ物、楽しそうなイベント、もっと素敵なファッションがSNSに流れてくる。そんなループが永遠に続くかもしれません。

これは世の中の幸せの基準に囚われてしまっているということ。じゃあ何を基準に生きていけばいいのか？何に囚われて生きていくのか？神の国と神の義をまず求めなさい。何を食べようか、何を着ようかと、そこに囚われて生きなくていい、とイエス様はおっしゃっています。パウロもこう言っています「自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです」。神様に捕らえられる。すると、ほかのものから自由になる。人からどう見られるか。何を持っているか。どんな評価を受けているか。そんなことに囚われずに生きられる。そして、その自由を何に使うのか。キラキラしたSNS上での輝きのためではなく、神様のために使う。人のために使う。「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」と神様はおっしゃっています。神に捕えられて、自由に、人のために生きる。これが Mastery for Service だと私は思います。

学校生活で本当の”輝く自由”を手に入れてください。

(株式会社電通 グループ・クリエイティブディレクター)

より難局に直面している人との関わりのために

山口 真史

私は、2歳のときに大韓航空機墜落事件で父親を亡くしたことから母子家庭で育ち、意識の有無に関わらず事件の影響を様々な形で受けて育ちました。高校（正確には高専）を中退したことも含め、マイノリティよりの人生を送ってきたと思います。また、母親がクリスチャンであったことから、キリスト教の信仰のある家庭で育ちました。そうしたことから、私自身も多くの困難を抱える一方で、昔からいわゆる「小さき者」に関心が向きやすい人間だったと思います。

そんな私ですが、現在は高校中退や不登校の方々の支援をメインの仕事にしています。初めは高校中退者が資格や身分、学歴で手っ取り早く社会復帰する道を作ることを目指していました。場ができて多くの人が訪れるようになると、もう少し踏み込んでそれぞれの大変さに向き合っていく必要性を感じ、取り組み始めました。今日では高校生年代の中退や不登校への対応は通信制高校の台頭で大きく流れが変わっています。「通信制高校があるからひと安心」という状況です。そんな状況で出会う人達にはより踏み込んだ関わりが必要だと感じる方が多くいます。ただ勉強を教えることだけではなく、勉強をきっかけにして考え方や感じ方、物事の捉え方などその人自身により踏み込んだ対応が求められています。

「Mastery for Service」。まさに、そういった人達への奉仕には練達が必要になります。そうでなければ継続的な関わりも、その人自身の成長も求められません。より大変な状況の人たちに奉仕するためには、より高い技量が必要になります。しかし、技術が熟達していくには多くの時間と労力がかかります。急に熟練者にはなれません。しかし、その道を進もうとする人の前にはそのステップが与えられます。私も中退者向けの支援をはじめて14年。不登校を取り巻く環境が劇的に変わっていった14年の間で、少しずつステップが用意され、少しずつできることが増えているように思っています。もちろん、まだまだ道半ばです。仕事も私事も含めて至らないところは探すまでもなくたくさん見つかる毎日です。状況が変わっても、より多様な人達に奉仕を続けるためにも練達を続けていきたいと思っています。

私の Mastery for Service

成岡 宏晃

関西学院の建学の精神を体現する「Mastery for Service」は、私の人生を大きく変えました。幼少期の私は、「周囲の人（特に親）に評価されたい」という思いを、生きる力の根源としていました。しかし、「Mastery for Service」という生き方を大切にしたいと願う今は、人から評価されるために強く立派であろうとするのではなく、むしろ自らの弱さを曝け出せる自分を大切にしたいと考えるようになりました。

私は高知に生まれ、父の転勤に伴って横浜、ジャカルタ、泉大津、大阪と転々として育ちました。新しい場所で友達をつくろうとしながらも、心底信じ合える仲間に出逢えたという実感をなかなか持てませんでした。振り返れば、人とつながりたいと願いながらも、傷つかないよう無難に生きること、自分を守っていたのではないかと思うことがあります。

そんな私が関西学院大学で出逢ったのが、千刈キャンプにおける「奉仕と祈りの生活」でした。そこで、学院が受け継いできた建学の精神を、自分自身の生きる指針にしたいと願うようになりました。文学部卒業後、生きることの意味やいのちの在り方、人生について問い続けたいとの思いから神学研究科へ進学し、やがて司祭として生きるようになりました。しかし、学べば学ぶほど分からないことは増え、この道に進んだことを後悔することも少なくありません。（笑）

そう考えると、私にとっての「Mastery for Service」とは、「答えを持っている人になること」よりも、「あらゆる不安や心配事を、安心して抱えられる人になること」なのかもしれません。かつての私は、人から注目され、評価されることで、自分の存在を確かめようとしていました。けれども今は、「分からない」「できない」「助けてほしい」と安心して言える自分でありたいと思っています。

「強く立派な自分を評価してもらうために生きる」ことから、「弱さを曝け出し、その弱さとともに誰かと生きる」ことへ。まだまだ道半ばですが、この歩みを続けていくことが、私にとっての「Mastery for Service」なのだと思います。

（日本聖公会 芦屋聖マルコ教会牧師・愛光幼稚園チャプレン・松蔭中学校高等学校チャプレン）

●タの礼拝のご案内

勉学や仕事終わりなどに、どなたでもご参加いただける礼拝です。オルガンの音に耳を傾け、賛美歌を歌い、聖書の言葉に聞き、日々の忙しさと喧騒の中で、こころ静かに過ごすひとときとなれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。

日時・場所：10月13日(火)17:10～ 関西学院会館ベーツチャペル(西宮上ヶ原キャンパス)

テーマ：「被造物の季節 2026 -いのちの水」

メッセージ：Christian Triebel(宣教師、学長直属准教授)

問合せ：学校法人関西学院法人部 TEL. 0798-54-6740

●サテライトキャンパスでのチャペルアワー

大阪梅田キャンパスと西宮北口キャンパスでもチャペルアワーを実施しています。

どなたでもご参加いただけるプログラムです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

大阪梅田キャンパス (アプロースタワー14階 1405教室)

11月19日(木)17:50～18:10 嶺重 淑(大学宗教主事)

西宮北口キャンパス (阪急西宮ガーデンズゲート館7階 多目的室)

11月13日(金)10:35～10:55 嶺重 淑(大学宗教主事)

●第233回ランバス演奏会 リコーダー・アンサンブルコンサート「レアール」

「レアール」は1997年に関西学院大学応援団総部吹奏楽部OB・OGを中心に結成されました。

ランバス演奏会への出演は24回目を迎えます。バロック音楽を中心に古楽からジャズに至るまで幅広いジャンルの音楽をレパートリーに活動しています。＜入場無料・予約不要＞

日時：2026年11月26日(木)

場所：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

出演者：Real(レアール)

主催：関西学院宗教センター(tel.0798-54-6018)

●2026年度 第1回教育研究部サロン「キリスト教主義学校と国家権力——現代日本を中心に」

戦前の日本において、教育と宗教の分離を求めた文部省訓令第12号は、キリスト教主義学校に大きな影響を与えました。現在においても、学術研究や教育の分野に国家の政策や制度が影響を及ぼす事例が見られます。こうした状況を踏まえ、学校教育と国家との関係について、ともに考えてみましょう。

お話し：芦名 定道(宮城学院女子大学学長)

司会：北村 泰彦(工学部教授)

日時：11月19日(木)17:10～18:40

場所：大学院I号館会議室I(西宮上ヶ原キャンパス)

主催：関西学院宗教活動委員会

※対象は関西学院教職員および学生(申込不要)

※対面で実施しますがZoom参加も可能です。以下URLもしくはQRコードからご参加ください。

<https://kwansei-gakuin.zoom.us/j/92491754686?pwd=G1utFUjYHGjW5UtyRRTr2FAqAcaQWY.1>



●秋の献血週間のお知らせ

以下のとおり、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

日 時： NUC・・・ 10月29日(木)、30日(金) 10:30～11:10／12:40～17:00

KSC・・・ 10月13日(火)、16日(金) 10:30～11:10／12:30～17:00

場 所： NUC・・・総合体育館横プラザ(予定) KSC・・・体育館横

主 催： 宗教総部献血実行委員会

●関西学院チャペルオルガニスト発表会

チャペルアワーで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たちが練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方等、どうぞお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。(入場料無料、申込不要)

日時・場所： 10月17日(土)10:00～ メアリー・イザベラ・ランバースチャペル(西宮聖和キャンパス)

10月17日(土)13:00～ 中央講堂(西宮上ヶ原キャンパス)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の10:00～11:00に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

10月25日(日)10:00～11:00

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。

日 時： 12月17日(木)17:30開場 18:30開始 20:50終了予定

場 所： ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

内 容： 第1部・・・音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ
第2部・・・学院の音楽団体によるクリスマスコンサート

参 加 費： 2,500円 全席指定席

参加費は運営費を除いた全額を宗教活動委員会を通して関係団体・施設等に献金いたします。

主 催： 関西学院

共 催： 関西学院後援会・関西学院同窓会

お問 合 せ： 関西学院宗教センター tel.0798-54-6018

チケット販売 9月18日(金)販売開始

*関西学院大学生協(tel.0798-53-5150 各キャンパスで販売)

*チケットぴあ Pコード 330-391

<https://w.pia.jp/t/kwansei-christmas/>



*ぴあ取り扱いのコンビニエンスストア:セブン・イレブン

*ザ・シンフォニー チケットセンター(tel.06-6453-2333 ・火曜定休、ザ・シンフォニーホール内)

<https://www.symphonyhall.jp/>

